

2017年 社長年頭挨拶

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、年頭挨拶として、社長から全役職員に向け、メッセージを送りました。社長メッセージのあらまはは以下のとおりです。

【「明治安田NEXTチャレンジプログラム」は完遂に向け順調に進捗】

- ・ 2016年は、日銀のマイナス金利政策、英国の欧州連合離脱の動きなどの影響から、株式・為替市場はかつてないほどのボラティルな展開となった。また、年末にかけては、米国大統領選挙の結果等を受けて、一転して円安・株高基調に転じるなど、様相が一変することを目の当たりにした1年であった。
- ・ 当社は、こうした経済環境のなか、2014年度からの3ヵ年計画である「明治安田NEXTチャレンジプログラム」の総仕上げに向け、経営計画の「四半期運営」など変化に機動的に対応してきた。
- ・ 個人営業部門では、新契約業績が順調に進展するとともに、対面のアフターフォローを担う「MYライフプランアドバイザー（営業職員）数」が30,900人台を突破。さらには、経年で調査している「お客さま満足度」の過去最高記録達成、「働き方改革」の本格始動など、各取組みが着実に進展し非常に充実した1年であった。

【「チーム明治安田」全員がチャレンジャー】

- ・ 2017年は、昨年にも増して多くの変化が想定され、「変化に対する想像力と柔軟な対応力」をさらに強化していくことが、ますます重要な1年となる。
- ・ 「明治安田NEXTチャレンジプログラム」では、「次の10年に向けた土台作り」に注力してきた。この4月から迎える次期中期経営計画では、この3年間で築き上げてきた強固な土台を活かして、いよいよ「真の意味でのチャレンジ」に取り組む。
- ・ このフェーズの転換に向けて、現行の企業理念を刷新するとともに、「11の改革」を次期中期経営計画の成長エンジンと位置付ける。この「11の改革」の着実な推進と、イノベーションを興す取組みが、当社の企業ブランドをつくり、企業理念の実現につながっていく。
- ・ 「チーム明治安田」全員が、企業理念の実現を担うチャレンジャーとなることを期待している。

【「夢」を「希望」に】

- ・ 私の「夢」は、明治安田生命を確固たる「存在感」のある生命保険会社にすること、そして、生命保険営業の社会的地位を一段と向上させること。
- ・ 130余年の長い歴史を持つ当社が、次の100年も輝き続ける、そのきっかけを掴む年にしたい。
- ・ 年頭にあたり、全役職員は、「自分の『夢』は何か」ということを確認してほしい。
- ・ 「夢」は、その実現にむけた成長の軌道を描くことで「希望」になる。「希望」は何事においてもくじけない「強い心」の礎になる。
- ・ 節目の日に、「家族や友人のなかの自分」、「地域社会における自分」、さらには「職業人としての自分」に想いを巡らせ、「夢」とその「成長軌道」について、改めて考えて欲しい。